

Morningstar Analysis Report of The Fund

MORNINGSTAR

ブレンドシックス

追加型投信/内外/資産複合

モーニングスターレーティングで
最高評価★★★★★を獲得!

※評価基準日:2020年4月30日



投資信託は、元本が保証された商品ではありません。お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

設定・運用は

 スカイオーシャン・アセットマネジメント

商号等：スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2831号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

＜当資料に関する留意点＞●当資料は、スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料であり、法令に基づく開示書類ではありません。●当資料中面に記載された記事は、モーニングスター株式会社が作成したものです。また当資料における内容は作成時点のものであり今後予告なく変更される場合があります。●投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認ください。●投資信託は預貯金と異なります。●投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。投資信託の運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、また、登録金融機関から購入された投資信託は投資者保護基金の補償対象ではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、当資料の記載内容、グラフ・数値等は資料作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。●当資料の運用実績に関するグラフ・数値等は、過去の実績を示したものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

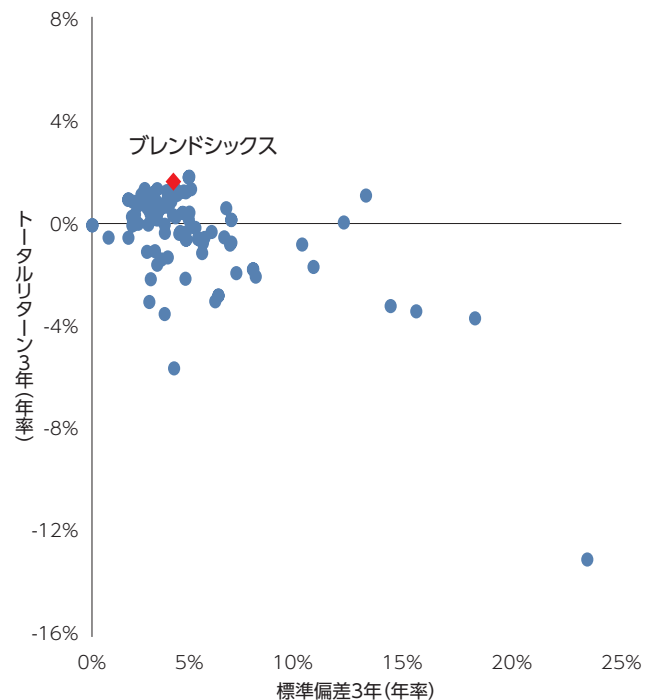
モーニングスターレーティングは2カ月連続の★★★★★でスタート

2020年3月から付与が開始された「ブレンドシックス」のモーニングスターレーティング^(※)は、2カ月連続で5ツ星を獲得してのスタートとなりました。2020年4月末時点では、カテゴリー「安定」内に付与対象ファンドは101本ありますが、そのうち、5ツ星を獲得しているのは「ブレンドシックス」を含めてわずか11本にとどまります。

(※) モーニングスターレーティングとは、運用期間が3年以上のファンドについて、リスク・リターンがカテゴリー（小分類）内でどの位置にランクするかを、5段階で示したもので、星の数が多いほど運用成績が良かったことを示しています。

「ブレンドシックス」の2020年4月末時点における過去3年間のトータルリターン（年率）は1.62%と、カテゴリー内に属する4割以上のファンドがマイナスとなる中、101本中第7位の優れた運用成績となりました。一方で、同期間の標準偏差（年率）は3.85%と、カテゴリー平均とほぼ同水準にとどまっており、リスクに対して高いリターンを上げたことが5ツ星を獲得する要因となりました（図表1参照）。

図表1：「安定」に属するファンドのリスク・リターン



※2020年4月末時点

※安定＝モーニングスターカテゴリー「安定」に属するファンド

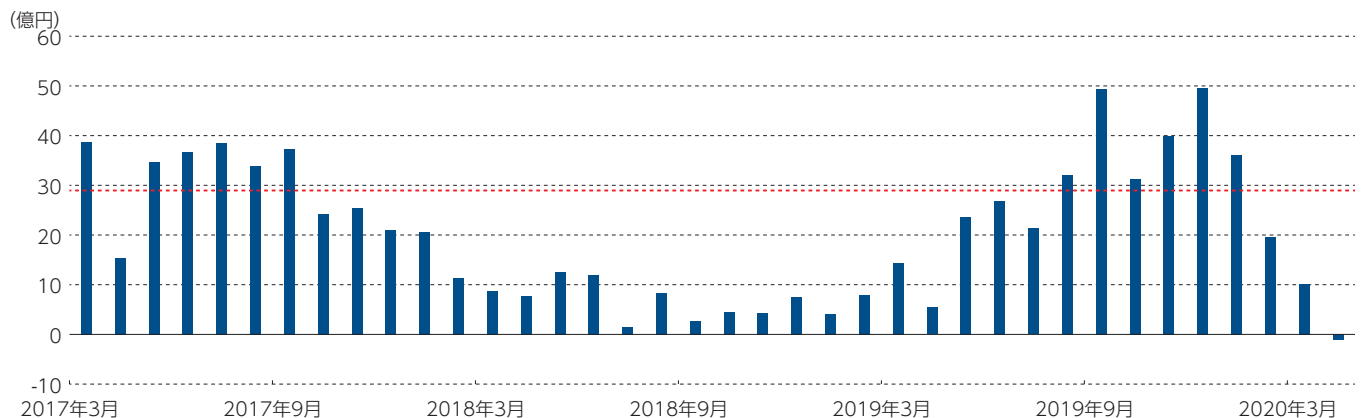
出所：モーニングスター作成

37カ月連続で資金流入が継続し、純資産額は3年で約14倍に急増

「ブレンドシックス」の月次の純資金流入額は、設定（2017年3月）から2020年3月までの37カ月連続で流入超過となりました。中でも流入超過額が30億円を超えたのが、設定直後の2017年5月から9月の5カ月連続だけでなく、2019年8月から2020年1月も6カ月連続となっており、良好な運用成績が長期間にわたる投資家の支持に繋がっています（図表2参照）。

継続的な資金流入により、2020年4月末時点の純資産額は787億円と、2017年4月末との比較では約14倍に急増しました。2020年4月末時点のカテゴリー内では128本中第5位の資産規模を誇っており、わずか3年でカテゴリー内で代表的なファンドのひとつにまで成長しました。

図表2：「ブレンドシックス」の月次純資金流入額の推移



※期間：2017年3月～2020年4月（月次）

出所：モーニングスター作成

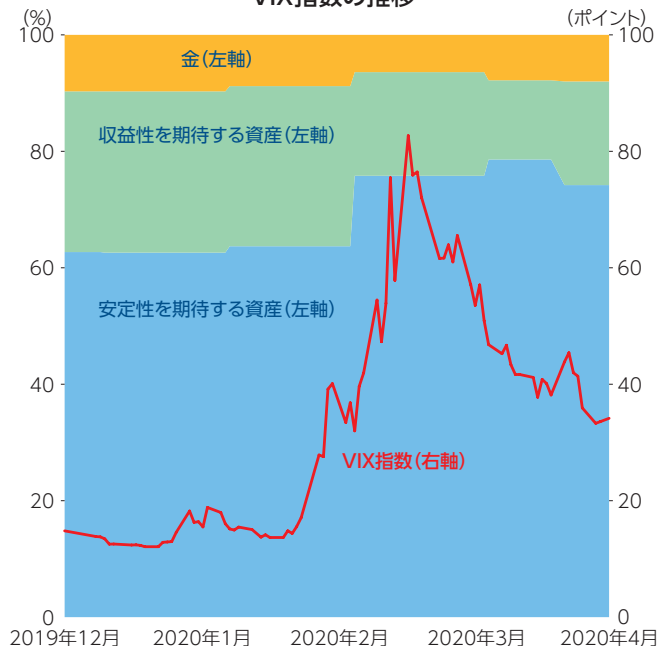
異なる6資産のリスクを均一にする「ブレンドシックス戦略」を採用

「ブレンドシックス」は、安定性を期待する日本国債とヘッジ付海外債券、収益性を期待する高金利海外債券、グローバル高配当株式、グローバルREITに加え、金に分散投資するファンドです。資産配分比率の決め方は「ブレンドシックス戦略」と呼ばれる特徴あるもので、組み入れている6つの資産の価格変動リスクに着目して、相対的にリスクが高まった資産のウェイトは引き下げ、リスクの低下した資産のウェイトを引き上げることで安定したリターンを獲得を目指しています。「ブレンドシックス戦略」は、運用業界で「リスク・パリティ戦略」と呼ばれる代表的な運用戦略のひとつです。

実際に、2020年4月までの年初来の「ブレンドシックス」の資産配分比率の推移をみると、VIX指数^(※)が上昇し始めた3月初めには安定性を期待する資産を10%以上引き上げ、収益性を期待する資産を10%弱引き下げることで価格変動の高まりに備えています。一方、VIX指数が落ち着いてきた4月後半には収益性を期待する資産を4%以上引き上げています。

(※) VIX指数とはリスク(変動率)を表します。通常時は10～20の範囲内で動き、相場の先行きに不安が生じた時には数値が大きく上昇する特徴があります。

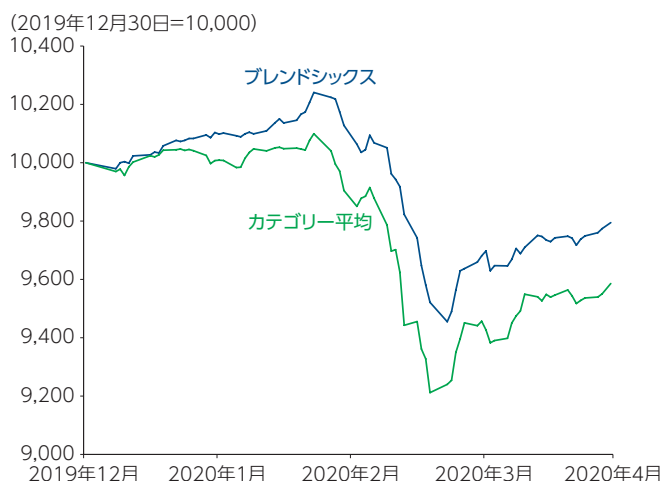
図表3:「ブレンドシックス」の資産配分比率及びVIX指数の推移



※資産配分比率はスカイオーシャン・アセットマネジメント提供の資産配分比率に基づく
 ※VIX指数=CBOE SPXボラティリティインデックス
 ※期間: 2019年12月末～2020年4月末(日次)
 出所: モーニングスター作成

『ブレンドシックス戦略』はコロナショックの急落局面だけでなく上昇局面でも優位性を発揮

図表4: 年初来トータルリターン率の推移



月次トータルリターン	2020年1月	2020年2月	2020年3月	2020年4月	年初来
トータルリターン	1.02%	0.26%	▲4.41%	1.18%	▲2.05%
カテゴリー平均	0.08%	▲1.03%	▲4.52%	1.37%	▲4.14%
カテゴリー平均差	0.94%	1.29%	0.11%	▲0.19%	2.09%

※カテゴリー平均=モーニングスターインデックス「バランス・安定型(単純)」
 出所: モーニングスター作成

2020年4月末時点における年初来トータルリターンは、カテゴリー平均を2.09%上回りました（図表4参照）。月次トータルリターンをみると、カテゴリー平均がマイナスとなった2月と3月のうち、2月はカテゴリー内で126本中第8位となったほか、3月は新型コロナウイルス感染拡大懸念などから、カテゴリー平均が▲4.52%と急落する中でも、「ブレンドシックス」は0.11%下落率を低くとどめています。グローバル高配当株式とグローバルREITの投資比率を2019年12月末時点から2020年3月末時点にかけて2～3%程度引き下げることで、大きな損失を回避しています。

一方で、カテゴリー平均がプラスとなった1月と4月のうち、1月には128本中第6位となっており、上昇局面でも優位性を発揮しています。つまり、『ブレンドシックス戦略』は市場全体の上昇・下落のいずれの局面においても相対的に優位性を発揮しやすい戦略であることが実証されています。

ファンドの投資リスク

<基準価額の変動要因>

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
したがって、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆さまに帰属します。
- 投資信託は預貯金とは異なります。

株価変動リスク、金利変動リスク、リートの価格変動リスク、金上場投信の価格変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、流動性リスク、カントリーリスク

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

<その他の留意点>

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

ご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お申込みメモ

申 込	申 込 時 間	原則として、販売会社営業日の午後3時まで。	決 算 ・ 分 配	決 算 日	毎年5月、11月の各15日 （休業日の場合は翌営業日）
	購 入 ・ 換 金 申 込 受 付 不 可 日	申込日当日が次のいずれかの場合は、購入・換金のお申込みを受け付けないものとします。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・ロンドン証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日		収 益 分 配	年2回、毎決算時に原則として収益分配をおこなう方針です。 収益分配金の受取方法により「分配金受取コース」と「分配金再投資コース」の2つの申込方法があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
購 入 時	購 入 単 位	販売会社が定める単位。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。	そ の 他	信 託 期 間	無期限（2017年3月13日設定）
	購 入 価 額	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額。 （基準価額は1万口当たりで表示しています。）		課 税 関 係	課税上は株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度（NISA）および未成年者少額投資非課税制度（ジュニアNISA）の適用対象です。 なお、配当控除あるいは益金不算入制度の適用はありません。
換 金 時	換 金 単 位	販売会社が定める単位。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。			
	換 金 価 額	換金申込受付日の翌々営業日の基準価額。			
	換 金 代 金	原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目からお支払いします。			

ファンドの費用

お客さまが直接的にご負担いただく費用

購 入 時	購 入 時 手 数 料	購入申込受付日の翌々営業日の基準価額に 3.3%（税抜3.0%）を上限 として販売会社が定める率を乗じて得た額。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
換 金 時	信 託 財 産 留 保 額	ありません。

お客さまが信託財産で間接的にご負担いただく費用

保 有 期 間 中	運用管理費用（信託報酬）	
	当該ファンド（a）	純資産総額に対して 年率0.968%（税抜0.88%）
	投資対象とする投資信託証券（b）	純資産総額に対して年率0.430%以内（税込） ※ ファンドが投資対象とする投資信託証券の想定される組入比率にもとづき委託会社が算出した上限値です。 この他に投資対象とする投資信託証券の一部においては固定報酬がかかります。
	実質的な負担（a+b）	純資産総額に対して 年率1.398%以内（税込） ※ この値は目安であり、投資信託証券の実際の組入れ状況により変動します。
	その他の費用・手数料	
	有価証券の売買・保管、信託事務にかかる諸費用、投資対象ファンドの解約にともなう信託財産留保額等をその都度、監査費用を日々、ファンドが負担します。 これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。	

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。
また、上場投資信託は市場の需給により価格形成されるため、上場投資信託の費用は表示しておりません。

委託会社およびファンドの関係法人

- 委託会社 スカイオーシャン・アセットマネジメント株式会社 [ファンドの運用の指図] ・金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第2831号
・加入協会：一般社団法人投資信託協会 ・ホームページ：https://www.soam.co.jp/
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社 [ファンドの財産の保管および管理]
- 販売会社 [募集・販売の取扱い、目論見書・運用報告書の交付等]

商号等			加入協会	
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会
株式会社京都銀行	登録金融機関	： 近畿財務局長（登金）第10号	○	○
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	： 関東財務局長（登金）第53号	○	○
株式会社群馬銀行	登録金融機関	： 関東財務局長（登金）第46号	○	○
浜銀TT証券株式会社	金融商品取引業者	： 関東財務局長（金商）第1977号	○	
株式会社横浜銀行	登録金融機関	： 関東財務局長（登金）第36号	○	○